

「人」と「人」が交わるフリーマガジン

# KRPPRESS

# 1

2013  
vol.128  
JANUARY



特集1:テクノロジー&ビジネスプランコンテスト  
in KYOTO 2012

## 日本のテクノロジーが 世界の新しいビジネスを創る!

特集2:再生医療とモノづくり企業の橋渡し





# 日本のテクノロジーが世界の新しいビジネスを創る! テクノロジー&ビジネスプランコンテスト in KYOTO 2012

日時: 2012年12月7日(金) 13:00~17:30(展示・交流会 18:00~19:30)  
場所: KRP1号館4階サイエンスホール、アトリウム(展示・交流会)

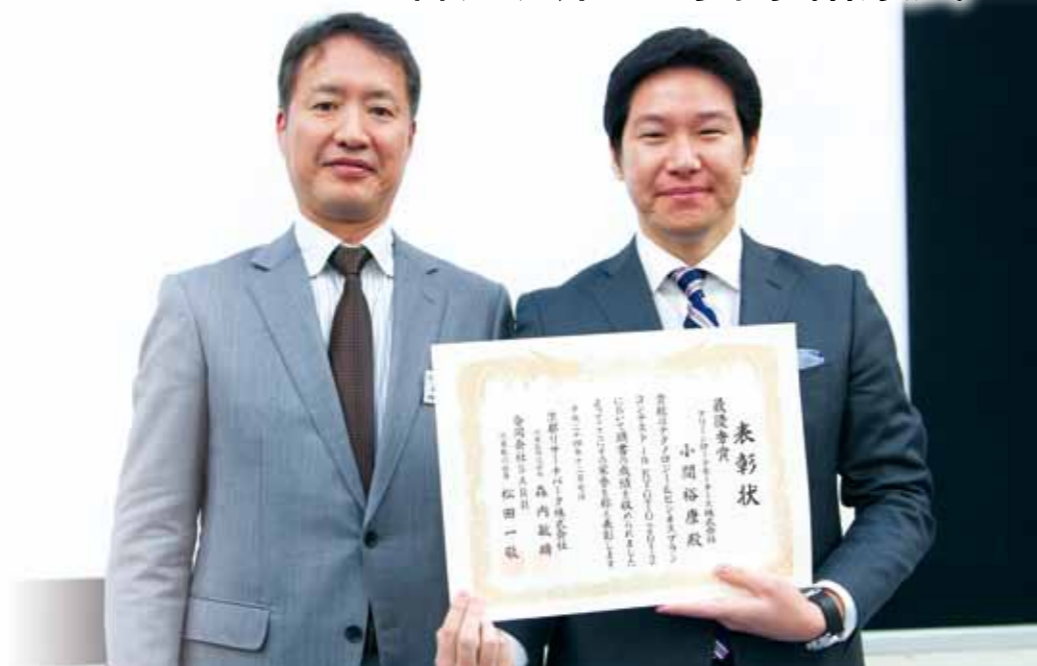
主催: 京都リサーチパーク(株)、(同)SARR  
共催: (公財)京都産業21、(財)京都高度技術研究所  
協力: NPO法人グローバルアントレプレナークラブ、share KARASUMA、京都大学  
後援: 近畿経済産業局、京都府、京都市、京都商工会議所、中小機構 近畿、  
日本貿易振興機構(ジェトロ)大阪本部、(公財)大学コンソーシアム京都、  
(社)日本ベンチャーキャピタル協会、(財)ベンチャー・エンタープライズセンター、  
NPO法人日本MITエンタープライズフォーラム、認定NPO法人地域産業おこしの会、  
京都銀行、京都信用金庫、日刊工業新聞社、京都新聞社、京都新聞COM

科学技術を活用した新たなベンチャービジネスの創出と育成を目指すコンテストの第2回。ファイナリスト15組が熱のこもった発表を行い最終審査によって各受賞者が決定しました。

## 最優秀賞

### 京都産EVスポーツカーを世界へ発信 グリーンロードモーターズ株式会社 小間 裕康氏

〈小間裕康氏プロフィール〉  
グリーンロードモーターズ(株)代表取締役。  
京都大学発の電気自動車の開発・販売プロジェクトを発端として、2010年ビュアスポーツEV「トミーカイラZZ」の開発販売を行う同社を設立。現在、宇治ベンチャー企業育成工場にR&D拠点を構えている。



(写真左から) KRP(株) 代表取締役社長 森内 敏晴、グリーンロードモーターズ(株) 代表取締役 小間 裕康氏

#### ■受賞者のコメント

京都が生んだスポーツカーブランド「トミーカイラ」を継承し、京都のものづくり企業と共同開発することによって、このEV(電気自動車)を量産モデルに仕上げた。このプラットフォームを他社に提供して、だれでも車や自動車会社をつくることのできるという新しい製造業の形も提案していく。受賞できるとは思わなかった。驚いている。評価されたビジネスモデルをしっかり構築して、期待に応えていきたい。

#### ■審査のポイント

「トミーカイラ」という車をベースに京都産の新しいスポーツカーをつくる、というプランはすごくわくわくするものでしたが、評価されたのはプラットフォームを提供する車体ビジネスでした。個人がメーカーになれる多品種少量生産が注目を浴びている今、車台とボディを分けて製造できるなど、他社でもスポーツカーをつくりやすいモデルになっているところに実現可能性があり、僅差を制して受賞となりました。

(同)SARR 代表執行社員 松田 一敬氏

#### テクノロジーの産業化から生まれる新ビジネスを京都から。

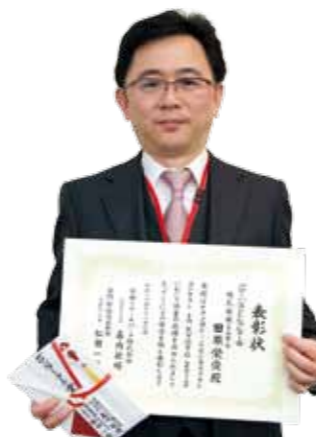
科学技術を活用することで新たな製品やサービスを生み出し、イノベーションの担い手となることを目指すビジネスプランを公募。海外へも事業を展開しようという意欲ある起業家を、ベンチャーゆかりの京都で応援することを目的とした

もの。応募期間中にはプランの添削や起業アドバイスが行われた。また、今回は、表彰式後に展示・交流会を開催することで応募者と支援者との接点も提供し今後の事業展開の後押しをした。



#### グローバルアントレプレナー賞

### テロメア・マイクロRNAをもちいた次世代診断システム 株式会社ミルテル 田原 栄俊氏



#### ■受賞者のコメント

染色体内の「テロメア」や「Micro RNA」を評価して「がん」の早期発見などに役立つ、国内オンリーワンの検査技術を用いた受託検査の事業プラン。既に海外からの需要があり、グローバルな展開が視野に入っているこの賞は大変うれしい。



#### ■審査のポイント

この1年でビジネス的に大変進化し、海外展開の実現性が高いので、審査員一同期待を持って表彰しました。許認可のハードルが高いので、しっかりとした製薬会社と提携するといでしょう。



(株)あきない総合研究所 代表取締役 吉田 雅紀氏



#### 京都で起業賞

### AGE(終末糖化産物)計測装置の開発・商品化 ストレックス株式会社 石田 敬雄氏



#### ■受賞者のコメント

糖尿病や動脈硬化・心臓病など成人病の原因となるAGEを完全に光計測する商品の開発に取り組んでいる。計測部位が特定され、高価であるなど、現在のAGE計測装置の問題点をクリアした商品を使って、病気予防につながる1000人のデータ蓄積を目指している。ものづくりは得意だが商売が苦手なので、これを機にご支援をお願いしたい。



〈石田敬雄氏プロフィール〉  
医療研究機器および医療関連機器の企画・開発・製造・販売を手掛ける大学発ベンチャー「ストレックス(株)」(大阪市中央区) 代表取締役社長。

#### ■審査のポイント

成人病の予防、治療の経過観察に大きな貢献ができる画期的な技術である上、化粧品やエステなどへの事業展開が期待できます。細胞培養システムの実績があり、また既にiPSアカデミアジャパン内に拠点を持たれていることが、この受賞となりました。



(同)SARR 代表執行社員 松田 一敬氏



#### 学生賞

### ぐっすりブーちゃん 法政大学 田路ゼミナール



#### ■受賞者のコメント

中央大学の橋本研究室で開発された科学技術を使って、睡眠導入機「ぐっすりブーちゃん」の製品化を目指すプラン。音刺激や、接触振動圧に脈拍数・呼吸数を個人適合させるところに特徴がある。ゼミではベンチャー・起業について学んでおり、今夏のアメリカ研修の成果が発揮できたと思う。



〈田路ゼミナールプロフィール〉  
法政大学経営学部 田路則子教授のもと「ベンチャー・起業論」を軸に、理論と実践を織り交ぜながらビジネスモデル作成と起業実践を学ぶ。

#### ■審査のポイント

難しく考えすぎた学生のIT系プランが多い中、動機も目的もシンプルでわかりやすかった。商品を手にとったときにすぐにわかる、日常生活に使える……、アイデアはそこからだし、普段の気づきが大切。です。



(株)イー・エージェンシー 代表取締役 甲斐 真樹氏



部門賞 〈ビジネスアイデア部門〉

採血不要の血液検査～非侵襲血液成分モニタリングシステムの事業化～  
チーム「びぼらいと」

■受賞者のコメント

北海道大学との提携によって、採血することなく血中脂質成分を計測する技術を開発。実用化につなげて新たな産業を創出し、世界の健康増進に貢献することを目的としている。賞は事業化への「期待」でもあると思うので、ご支援いただければありがたい。



〈チーム「びぼらいと」代表者プロフィール〉  
診断薬メーカーに勤務。脂質検査を中心に学術活動を展開。診断薬メーカーでの経験、人脈を生かし、医療機器開発メーカーとして、1年以内での起業を目指し活動中。

■審査のポイント

産学連携からのアイデアです。血中コレステロール値の善玉と悪玉を区分できないのが課題ですが、しっかり実用化されていけば、すごく面白い技術になるといふことで受賞となりました。



(株)あきない総合研究所 代表取締役 吉田 雅紀氏

部門賞 〈ベンチャービジネス部門〉

肉牛の発病監視システム  
株式会社ハッピーリス 代表取締役 吉田 理恵氏

■受賞者のコメント

聴診器と携帯電話のボイスレコーダー機能をつないだ自社開発の特殊集音器「ケアレコ」の技術を用いた肉牛の病気発見に用いる事業プランを提案。「近江牛」で提携先が見つければKRPに拠点を置きたい。



〈吉田理恵氏プロフィール〉  
作曲家。音楽プロデューサー。「大事MANブラザーズバンド」メンバー。2006年同社を設立、音楽制作や教育事業のほか音響製品の開発・製造を手がける。

■審査のポイント

とても着眼点がよくポテンシャルがある。多方面に展開が期待できるので、広がってほしい。「音」のデジタル処理とアナログの融合で、今後もっと面白いものができるとも思っています。



京都リサーチパーク(株) 成長企業支援部部長 岡田 直樹

部門賞 〈コンテンツ・クリエイター部門〉

世界初のパノラマVRソリューション同時開設プロジェクト  
design studio PENCIL 主宰 パノラマVRクリエイター 二宮 章氏

■受賞者のコメント

パノラマ撮影機材、パノラマライブ配信、被災地支援という3つのビジネスプランを提案したので時間が足りなく、過去最速のプレゼンになってしまった。今後もパノラマの魅力、エンドユーザーだけでなくビジネスシーンにまで広く伝えていきたい。



〈二宮章氏プロフィール〉  
パノラマ制作に携わって17年。企業向けコンテンツの開発を行いながら、国内外で認められたパノラマ情報プロガーとして啓蒙活動を行っている。KRP町家スタジオに居る中。

■審査のポイント

エンターテインメント分野ではなくビジネスシーンで、パノラマ技術そのものの普及をもう少し探ってみてもいいのでは、というのが最大の受賞理由です。B to Bで何か突破口があるのではと思っています。



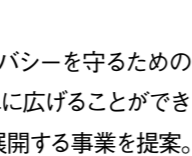
立命館大学映像学部教授 サイトウ・アキヒロ氏

部門賞 〈復興支援ビジネス部門〉

折紙エコドーム～軽量・折畳み、持運び可能で被災地避難所でプライバシーを確保～  
北海道大学 繁富 香織氏／天津大学 Yan Chen氏／東京大学 幅崎 昌平氏

■受賞者のコメント

災害時の避難所生活で簡単にプライバシーを守るためのテントを、軽量で小さく折り畳み、簡単に広げることができる「折紙工学」の構造技術を使って展開する事業を提案。将来的には、折紙工学の技術を、医療器具や細胞の立体構造を作製する技術など再生医療分野へ応用したい。



■審査のポイント

ORIGAMIは世界共通語にもなっていて、宇宙のアンテナや医療現場でも用いられている技術。エコドームそのものも復興に関連して面白い商品ですが、ベースとなる折紙の技術が高く評価されて受賞につながりました。



(同)SARR 代表執行社員 松田 一敬氏

起業スペース提供(3カ月間)

- 京都高度技術研究所イノベーション創出コミュニティ パーシャルオフィス  
法政大学 田路ゼミナール  
京都大学大学院医学研究科 楊 振楠氏
- Share KARASUMA フリーデスク (同)アドリンク
- ベンチャーインキュベーションオフィス(KRP内) (同)京都環境エネルギーマネジメント研究所

展示出展ブースの提供

- 京都ビジネス交流フェア2013ものづくり加工技術展 (株)グリーンロードモータース 小間 裕康氏

特典授与



テクノロジーとアイデアで次代を創るファイナリストのみなさん

〈基調講演〉林 高生氏 (株)エイチーム 代表取締役社長  
『面白くて強い会社を創る!』



会社設立12年で年商約64億、東証第一部上場、という順調に見えるが、実は失敗の連続だった。1997年、姉の勉強机を借り業務システム受託事業を開始したが、ほぼ一人で細々と営業と開発をしていた。続けるうちに携帯サイトの受託の仕

事は増えていき、メンバーも増えた。だが、昼夜問わず働くような状況に疲弊し、もう会社を解散しようかと考えていた。しかし、神田昌典氏の著書で目にした「夢や目標を紙に書くと実現する」を実践し、「自社のサービスをつくること」が自分のやりたいことだと明確になった。それを機に受託開発から自社開発へシフト。携帯サイト運営システムの提供を開始し、携帯ゲームの事業を立ち上げた。だが運営システムの契約も当初は目標を大きく下回った。携帯向けコンテンツだけでは不安だと思

ふとひらめいたアイデアから「引越し価格の一括見積りサイト」や「結婚式場の検索・予約・情報サイト」などを開発、ライフサポート事業として売上げの半分を占めるに至っている。資金がない時にオフィスを追い出されたり、自社サービスが軌道に乗った矢先にシステムを盗まれたり……と不幸に見舞われたが、その経験もあって、「みんなで幸せになれる会社」にしたいという思いが現在の大切な指針のひとつになっている。失敗を繰り返しながらも続けてきたことが、今につながっていると思う。

主催者からのメッセージ

(同)SARR 代表執行社員 松田 一敬氏

「テクノロジー」を冠につけたコンテストにふさわしく、技術的に面白いものが集まった。審査は白熱し、最優秀賞・グローバルアントレプレナー賞・ベンチャービジネス賞については混戦だった。結果、最優秀賞やグローバルアントレプレナー賞と、受賞しなかった人との点数的な差はほとんどなかった。受賞結果にかかわらず今後どうやってビジネス化していくかが重要なので、新しく伸びていく企業をみなさんで応援していただきたい。



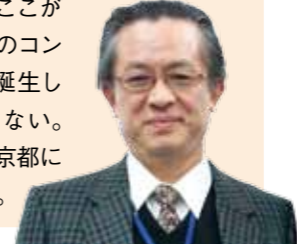
京都リサーチパーク(株)

今回のコンテストは終了しましたが、応募者の活動は表彰式がゴールではなく、これからが本番です。地域活力の活性化には、当コンテストに応募していただいた方々の活躍が不可欠です。そのためには、応募者のみなさんの努力に加え、それをサポートする環境(エコ・システム)の実現も重要です。KRPでは、そのような環境の実現を目指した活動を展開していきたいと考えています。これからの活動にもご期待ください!

審査員総評

(財)京都高度技術研究所 理事長 西本 清一氏

一次審査の段階から質の高い、良い提案が集まっていた。受賞には至らなかったが惜しいプランもあったし、学生諸君の発表も含めて今日は本当に楽しめた。ここが一つの登竜門になって、何年後にこのコンテストがきっかけだったという企業が誕生してくれば、こんなにうれしいことはない。3カ月間のスペース提供もしているので京都に集まって京都から羽ばたいてもらいたい。



審査員(五十音順)

- 岡田 直樹 京都リサーチパーク(株) 成長企業支援部部長
- 甲斐 真樹氏 (株)イー・エージェンシー 代表取締役
- 木谷 哲夫氏 京都大学産官学連携本部寄附研究分野 イノベーション・マネジメント・サイエンス研究部門教授
- サイトウ・アキヒロ氏 立命館大学映像学部教授
- 坂田 恒昭氏 塩野義製薬(株) Global Development Office イノベーションデザイン部門長
- 西本 清一氏 (財)京都高度技術研究所 理事長
- 平石 郁生氏 (株)サンブリッジ グローバルベンチャーズ 代表取締役社長
- 松田 一敬氏 (同)SARR 代表執行社員
- 吉田 雅紀氏 (株)あきない総合研究所 代表取締役



KRP(株)開発企画部 再生医療・試作サポートチーム

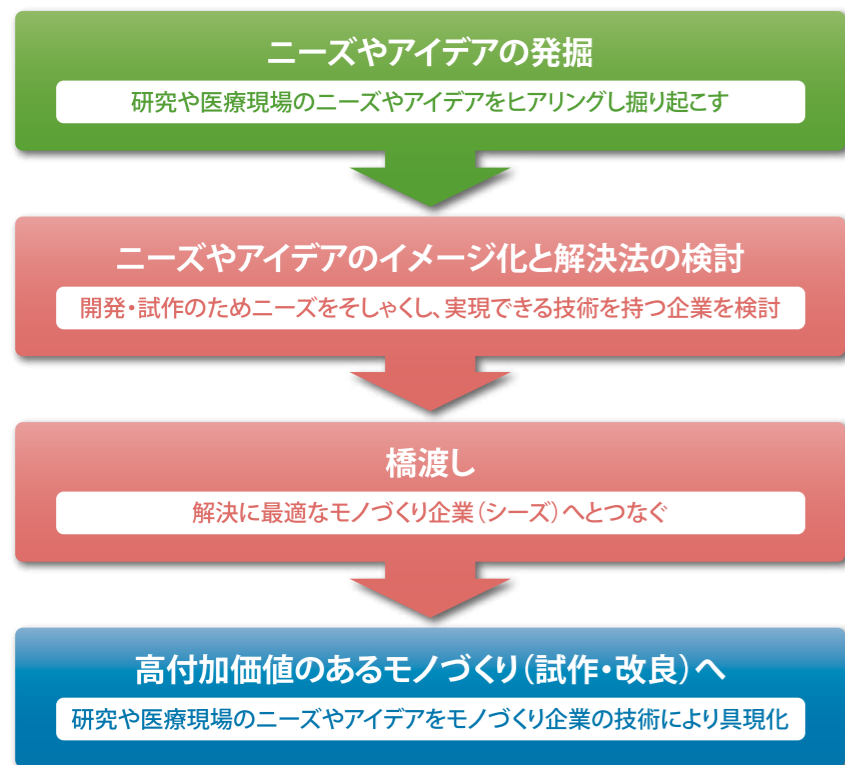
# 再生医療の研究者のニーズをモノづくり企業へ橋渡し

研究や医療の推進に役立つ理化学機器や医療器具のニーズをモノづくり企業の技術シーズとマッチングさせて製品化につなぐ再生医療・試作サポートチームの活動をご紹介します。

山中教授のノーベル賞受賞で一躍注目を浴びる再生医療ですが、その実用化にはそれを支える研究が重要です。飛躍的に進歩した科学分野では、研究目的にあった理化学機器や医療器具が求められています。これらの機器・器具開発は、薬事法等の規制の対象外のもの、開発に多大なお金と時間を必要としないなど、モノづくり企業の優れた技術やノウハウを活かすことができる分野です。しかしながら、多くのモノづくり企業にとって、再生医療分野の「言葉」が聞き慣れないこともあり、研究や医療現場で行われていることや、用いられている機器・器具や材料、求められている技術などを理解できていないのが現状です。そのため、活用できる技術やノウハウを持ちながら、ビジネスチャンスを逃しているモノづくり企業も少なくありません。

このような現状を踏まえて、KRPではモノづくり企業の事業領域の拡大、高付加価値化を目指し、平成23年7月に「再生医療・試作サポートチーム」を発足させました。ポスドクや大手企業OBが橋渡し役となって、大学や医療現場のニーズを掘り起こし、その内容をそしゃく・イメージ化し、必要とされる技術(解決法)を探り、モノづくり企業の技術シーズとマッチングさせる活動を行っています。これまでに、105人の研究者から110件のニーズを掘り起こし、既に36件の試作品が完成、現在70件の試作プロジェクトが進行中と成果も着々と上がってきています。今回は、研究現場と技術現場をつなぎ、新たな事業のタネを生み出そうとしている、そのユニークな活動ぶりを紹介します。

## ●再生医療・試作サポート活動の仕組み



## ●KRP再生医療・試作サポートチーム



ポスドクや大手企業OBなど研究やモノづくりの経験を持つ5人のスタッフが、大学のニーズの掘り起こしとイメージ化、必要とされる技術の研究を分担。ニーズの内容をスタッフの得意分野によって振り分け、適材適所で活動しています。

試作品の出来ばえに先生が満足され、それを見た技術者の方が喜んでいる姿を見ると橋渡し役として非常にやりがいを感じます。求められるものを必要とときに提供できるコーディネーターでありたいです。



京都リサーチパーク(株) 開発企画部 村中 伸滋

## ●試作・製品化事例

### 小細胞蛍光染色両面シール



**依頼元**  
大阪大学大学院工学研究科 生命先端工学専攻 紀ノ岡 正博教授

**企業**  
カジックス(株)  
実験動物やヒト由来の接着細胞を蛍光染色する際に、高価な抗体試薬や蛍光色素の使用量を節約できる製品

### 歯肉組織培養のための加圧型細胞培養装置



**依頼元**  
大阪大学大学院歯学研究科 江草 宏助教

**企業**  
(株)アクト  
歯肉組織の再生研究のため細胞の培養時に、あごの環境を再現し細胞に圧力を加える装置

## モノづくり企業から



思いの代弁から製品情報の提供まで多様で幅広いサポートに感謝

(株)積進 システム部 設計開発課 主任 森 哲也氏

「こんなモノ、できませんか」と声をかけられたのが始まりでした。ある医療分野の製品アイデアだったのですが、当社は金属加工会社として今まで航空機やロケットや半導体製造装置の部材の製作をしてきたため戸惑いました。医療分野は未知の世界でもあり、人の命に関わるようなことができるのかと不安でした。しかし、再生医療・試作サポートチームのスタッフの方の話を聞くうちに、私たちのようなモノづくり企業の技術を活かした仕事があると分かりました。

試作に取り組み始めた当初、大学側との打ち合わせでは、同じ業界同士であれば分かる「当たり前」のことが伝わらず苦労しました。例えば、通常は図面を元に打ち合わせをしますが、大学の先生には出来上がりが想像しづらいと聞き、図面を立体的に書き起こしたイラストでイメージを共有できるようにしました。そして先生の要望を会社に持ち帰っては社内で相談する、ということを繰り返しました。また、ピンセットの開発中には、どうしても必要なフィルターに適したものが見つからず、KRPの村中さんに相談したところ、われわれの業界にはない最適な材料を探して



〈試作完成品〉小動物保定装置 (小型マウスの頭部を固定する装置)



〈試作完成品〉種子・細胞移動用ピンセット(100μ単位の種子を空気圧で移動させる器具)

していただけました。こうして試作品が出来て先方に喜んでもらえると、また次の案件に取り組み意欲が湧いてきます。



(株)積進 専務取締役 田中 安隆氏

コーディネーターの要件は、両者のつなぎ手として頼れる存在であり、どんな難題でも投げ出さずに立ち向かえることだと考えます。その意味でKRPの村中氏は「本物のコーディネーター」の一人であると思います。

## 研究室・医療現場から

### 本来の研究に専念するための放物面鏡の固定化をサポート

京都大学 iCeMS 田中耕一郎グループ  
廣理 英基助教 / 谷 峻太郎研究員

テラヘルツ光を用いた分光研究をしており、光学系の構築に必要な不可欠な放物面鏡の改良を試みています。表面の精度を高めたかったので、京都近辺で切削加工を得意とする企業を探していました。情報が少なくHPでもなかなか探しだせなかったのですが、KRPのコーディネーターの方から、金属加工の各企業の得意分野と費用の見積を比較対照できる資料をいただき、スムーズに見つけることができました。図面の書き方についても、現場との感覚の違いなどをアドバイスしてもらっています。完成すれば今まで手がかかっていた放物面鏡の固定が誰でも簡単にでき、本来の研究に注力できるので有難いです。



左から谷研究員、廣理助教

### 制作現場とのコラボが新鮮 異分野との交流は重要に

京都大学 iCeMS 神経発生生物学 細胞生物学 見学 美根子教授



ある企業が積極的に基礎研究の現場に関わりたいという考えで動かれている、ということに驚き誠意を感じました。モノづくりされている現場の方に「ここをこうして」と、こちらの要望を伝えながら一緒に作っていくことは新鮮で有意義でした。研究に必要な機械を既製品でごまかしながら対応していると、なかなか同じ精度で実験できないという問題があるのです。一番カスタマイズした形で機械を作ってもらえると、それを使いこなさずすれば誰でも再現できることとなります。基礎研究の後で研究者がモノづくり現場へ進出した、工場の人材が研究現場に入ったりして人材の交換があると、何か新しいものが生まれるかもしれませんね。

### 「どこに」「何を」頼めばいいか 悩みごとが、たちまち解決

京都市立病院 眼科 鈴木 智副部長



ドライアイや眼表面の炎症性疾患の研究をしています。研究に必要なある器具を探していたのですが、どこに頼めばいいのかわからず諦めかけていました。私の依頼を聞いて、村中さんが「参考に」と持って来られた製品がまさにイメージ通り。おかげで完成の目処がつきました。つなげる人の存在ってすごいと思います。

### イラスト解説付きのガイドブック



「続・モノづくり企業ができる再生医療の現場」が完成いたしました。モノづくり企業が実際に手がけた試作事例も掲載しております。ぜひご覧ください。

問合せ先: KRP開発企画部 075-315-8476



# 京都職人工房がKISTICにオープン!

## 伝統産業の若手職人を啓発・刺激する 新たなものづくりの拠点がスタート。

京都の伝統産業の次代を担う若手職人が、これからのグローバル社会に通用する「売れるものづくり」に取り組むインキュベーション施設「京都職人工房」が、KRP地区内のKISTIC1階に開設された。これは京都府の「伝統産業若手育成事業」の平成24年度事業の一つ。伝統的な匠の技に加えて、現代に通用するビジネス戦略や国際的視野を身につけることで、次世代のものづくりの担い手となるクリエイターとしての人材を育成し、伝統産業及び地域経済の活性化につなげようというもの。

参加者は、月10,000円の自己負担で作業室とオフィスの2室からなる「シェアアトリエ」を他分野・異業種とのコラボレーションや相互啓発のために共同利用できるほか、デザインやマーケティングなどビジネスプランに関する講座やワークショップによる「人材育成プログラム」を受講できる。さらに成果発表と販路開拓のための実践の場として、KRP地区内の「五条七本松手作り市」や高島屋京都店6階にある京都コレクションショップに出店できる。参加者は公募審査によって選ばれ、塗りや蒔絵などの漆工芸、金箔、竹工芸、陶芸といった分野の職人をはじめ店舗経営者、伝統工芸を志望する学生らを含む13人が、交流を深めつつ活動している。



▲ビジネスプラン講座▼



▲デザインの基礎講座



▲五条七本松手作り市

## 新しい風に触れてものづくりを

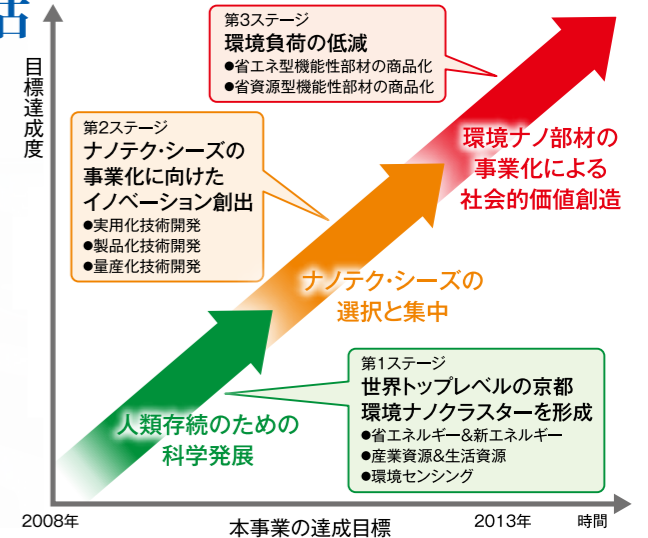
厳しい状況にある伝統産業の世界で、マーケットインのものづくりができる若い職人を育成する支援事業の一環としてスタートしました。KRP地区を選んだのは、伝統産業とは異なる世界を持ち化学変化が起きそうな場であることや、再生医療の研究からIT系ベンチャーまで集まっている新産業創出の拠点であるということが大きいです。また、今回集まった13人の方は本当に分野も業種もバラバラです。そういった方たちがこの場所で、これから行う研修やワークショップをきっかけに、お互いの技術や視点を持ち寄り、新しい風に触れることで今までにないジャンルのものづくりができることを期待しています。



京都府商工労働観光部副部長  
岡本 圭司氏

平成24年度 京都環境ナノクラスターフォーラム 開催  
～京都生まれのワザとモノで地球を救う～

## 環境ナノ部材研究開発から 世界を目指す 5年間の事業総括



文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラム(平成20年9月1日～平成25年3月31日)の成果発表として「京都環境ナノクラスターフォーラム」が開かれた。基調講演、活動の総括に続き、エネルギー・資源・環境センサの3つの領域から注目すべき成果が発表された。

第I期(平成14～19年度)の京都ナノテク事業創成クラスターの実績と経験を踏まえ、関西文化学術研究都市との広域連携によって展開された今回は、ナノテクノロジーを核としてエネルギー・資源など21世紀の地球環境課題に対応する「環境ナノ部材」の研究開発を産学公が連携して行い、地域経済の発展と地球環境問題の課題解決に取り組もうというもの。世界トップレベルの環境ナノによるクラスター形成を目指し、地域内に先端部材製造企業が集積する京都の特性を活かし、高い国際的競争力を有した「京都環境ナノクラスター」を形成することを目的としている。

事業成果報告として開催された本フォーラムは、堀場雅夫本部長の主催者挨拶からスタートした。続く基調講演では、産業タイムズ社代表取締役の泉谷渉氏が講演を行い、豊富な市場データをもとに「時代は高付加価値産業へと向かっている。装置技術や材料部材を得意とする京都企業は必ず勝ち残る」と話した。

市原達朗事業総括による活動報告の後、午後の部では、「省エネルギー」「新エネルギー」「産業資源」「生活資源」「環境センサ」、さらに「広域化プログラム」の計6グループの研究代表者により成果が発表された。「省エネルギー」部門で開発された次世代半導体材料SiC(シリコンカーバイド)は、これまでのシリコン素材に比してエネルギー損失が大幅に軽減され、省エネ効果が非常に高いことが報告、注目された。現在は量産化体制に入っており、今後、社会へインパクトを与える目覚ましい成果が期待されている。その他、生活資源分野からは、排水液を利用可能にする水質浄化剤の開発が報告されるなど、環境改善に向けた最先端技術が多数発表された。

今後の取り組みとして(財)京都高度技術研究所の江川博専務理事が「南部では『らくなん進都』の整備を進め、わが国初の環境と医療の両方を目指すクラスターの拠点として産学公が連携してますます先端を走っていきたい」と抱負を述べた。

フォーラム終了後の交流会は、5分50約50件のプロジェクトがポスター展示された会場で開かれ、企業・大学・行政の各関係者が意見や情報を交換し交流を深めた。



※今回の成果発表をPRするため、12月5日に東京国際フォーラムで「京都環境ナノクラスターフォーラム in 東京～グリーンイノベーションに向けた京都スタイルの提案～」が開催された。

## 活動報告

事業推進にあたって万全の組織体制を形成し、世界に冠たる研究者が各領域のトップとして関わり、すべてのメンバーが本気で取り組んだ5年間だった。11月末の時点で、事業化(売上高)、論文、特許出願、ベンチャー創出、海外連携拠点などすべての計画項目について目標をクリアできており、年度終了までに当初の数値目標を達成できる見込みである。今後は、近隣の企業と大学とが日々のなかでの互いの信頼感を基盤に形成する「身の軽い」京都型(日本型)のベンチャー育成を確立し、国家プログラムとの整合性を図りつつ自立の道を探ること、産と学が集結する京都の地の利を活かして、サイエンスとエンジニアリングが同時進行できる体制をつくるのが重要であると考えている。



京都環境ナノクラスター本部  
事業総括 市原 達朗氏

**京竹籠 花こころ 小倉 智恵美さん**

学校を卒業してからこれまで仕事をしてきた中で、自分なりに仕事に対する考え方はあったのですが、どうしても技術的な視点から作品を追求するという面が強くなりがちでした。ビジネスプラン作成のセミナーを通じて、そうした考え方が覆され、もっと世の中のニーズや動きを捉えることが必要だと分かりました。いつも伝統的な技法で仕事をしているのでそれは守りたいという気持ちはあります。でも、どういものが世の中に求められているかをみなさんと考えていきたいです。

**漆工芸 阪本 修さん**

自分の仕事についての考えを文章化し、他の参加者と話し読みしています。読み比べると今までにない発見があります。そして、それについてアドバイスをくださるプロの講師の方がいることで、さらに視野が広がっていきます。

**京都工芸繊維大学 工芸学部  
造形工学科 本田 亨一さん**

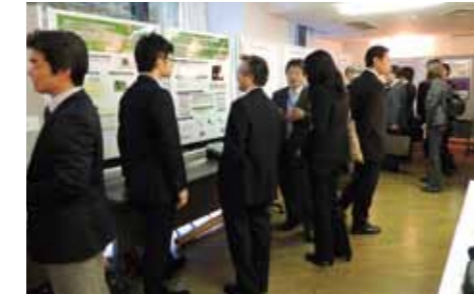
セミナーでは、学校の授業ではさらっとしか触れられなかった部分をより実践的にした話が多く、新鮮な気持ちで受講しています。これから、他の方の作品をもっと知りたいですね。誰かどのような技術や経歴を持っているのか知りたいです。自分ができることはデザインのお手伝いなどなので、そこから広げて何か一緒にやってみたいと思っています。





## アドバンスド・エレクトロニクス・シンポジウム2012

日時：2012年11月15日(木) 10:00～19:30  
 会場：KRP4号館地下1階バスホール、バンケットホール  
 主催：アドバンスド・エレクトロニクス・シンポジウム実行委員会、国立大学法人京都大学、オムロン(株)、大日本スクリーン製造(株)、東京エレクトロン(株)、ニチコン(株)、(株)堀場製作所、(株)村田製作所、ローム(株)、(財)京都高度技術研究所  
 共催：京都大学産官学連携本部  
 後援：近畿経済産業局、京都府、京都市、京都商工会議所、(公社)京都工業会  
 協賛：(独)中小企業基盤整備機構近畿本部



### 「グリーンイノベーション」をテーマにエレクトロニクスの最先端の取り組みを紹介

京都に本社を置く電子部品・製造機器、計測機器メーカーなどエレクトロニクス関連の7つの企業を中心となって産学交流の場を設け、京都ならではのオープンイノベーションの推進をめざすシンポジウム。4回目となる今回は、京都大学小寺副学長のオープニングトークの後、「グリーンイノベーションに向けてのエレクトロニクスの進展」をテーマに、パワーエレクトロニクスをはじめとする「エネルギー・環境問題」への先端的な取り組みについて、主催各社から発表があり、163人が出席した。

招待講演では、戸田建設(株)環境事業推進室の森一純氏(写真中段)が、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の実用化に向けて、異業種コラボによってスマート化に取り組んだ事例を報告。また、特許庁先任上席審査官の大嶋洋一氏が、グリーンイノベーションにおける知的財産戦略について、意義と効用を解説した。

イノベーションイニシアティブ事業のネットワーク参画企業10社も参加し、過去最大の参加数となった今回のポスターセッション。進行中のプロジェクトをポスター展示とともに担当者が紹介し、大学・企業、大手企業と中小企業・ベンチャーなどの垣根をこえた活発な意見交換が行なわれ、新たな事業連携の種が生まれる場となった。

# KRPEOPLE

KRPeopleはKRPエリアを拠点に活躍するすべての人、その意外な素顔に迫ります。

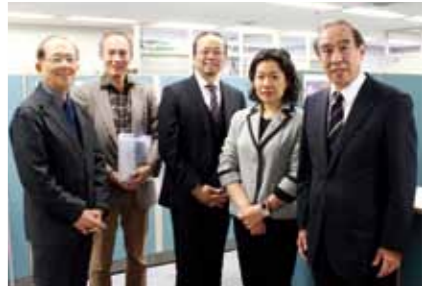


株式会社アール・エム・アイ 代表取締役研究所長

### 田邊 朋子氏 (4号館3F)

大阪府泉南生まれ。水処理プラント設計会社に勤務していた時にISO9001の事務担当となり、興味を抱く。退社後、フリーのコンサルタントとして(株)アール・エム・アイと契約、環境、品質のコンサルティング業務を担当。現取締役会長・江崎丸丸氏の推薦によって2004年に同社に入社。2010年研究所長、2012年6月に代表取締役研究所長に就任。

制服や校則に縛られていたため、ルールの押しつけに対する反発がありました。そこへ、またもやルール……と思ったのですが、ISOの「自分たちのルールは自分たちで決めてマネジメントする」という考え方に新鮮な衝撃を受けたのです。「これは面白い」と思いました。会社を辞めて自分なりに勉強を始め、至らない部分をお客さまからフォローしてもらいながらフリーのコンサルタントとして働いているうちに、現会長から声がかかり、環境、品質のスタッフとして就職、今日に至っています。



コンサルタントの仕事の大半はお客さまのお話を聴くことなので、おしゃべり好きな私としては、時々リフレッシュしたくなりますね。最近始めたのが美術鑑賞。大阪なら中之島の東洋陶磁美術館や心齋橋の市立美術館などへ出掛けて、大好きな佐伯祐三の絵を見たり……。京都でどこか良いところがないかと探していたら、友人が祇園の何必館を教えてくださいました。そこには箱根にしかないと思っていたジャコモ・マンズーの枢機脚の彫像があると聞き、ぜひ行ってみたいと思っています。

実はKRP地区へは再々入居になります。ちょうど20年前、KRPのここITEC内でわが社は誕生しました。KRPには企業を育てたりサポートしたりする体制が整っていて、成果も上げられていますね。そういう土壌は企業にとってもプラスですし、私や同年代のスタッフには地区内にカフェや書店があるのが便利でうれしいです。

インターネットをフルに活用する一方で、これからは人と人とのナマの交流が大切になってくるのではと考えています。仕事も人生もマネジメントするのは自分自身ですが、新しいものを生み出すにはさまざまな人との出会いや関わりが必要になってくると思います。わが社では来訪者は大歓迎。入り口にウェルカム・キャンディも用意していますので、どうぞお気軽に訪ねてください。



### 美術館めぐりでリフレッシュしながら新しいコンサルテーションを探っています。

アール・エム・アイとはRisk Management Instituteの略。リスクマネジメント研究を基盤とするマネジメント提案や企業リスク、品質、環境、情報セキュリティ、CSRなどのコンサルテーションが当社の中心事業です。なかでもCSRについては京都の中小企業に特化したCSR(KSR)を自社開発し、業種だけでなく地域性も視野に入れた的確なコンサルテーションを展開しています。現在、3人の役員と監査役、非常勤1人、ほかソーホースタイルのスタッフが12人。スタッフは、大手企業を早期リタイアした人や中小企業でトップマネジメントを長年務めた人など、実績や経験を重ねた人で構成し、その時々々の依頼内容や受注状況に応じて効率的な業務が行える体制をとっています。

リスクマネジメントとの出会いは以前に勤務していた会社でISO9001取得のための事務局を任されたことでした。中学・高校と

## KRP成長企業支援部 イベントレポート

10/22

### 商品企画実践セミナー in KRP町家スタジオ



アイデアを商品開発・商品企画へ発展させることの重要性

第一部「アイデア創出のきっかけと商品企画のプロセスを学ぶ」、第二部「実際に「3Dステレオグラム」の商品化を企画する」という二部構成で開催。モビーダココミュニケーションズ(株)の九島社長、高田氏を講師に迎え、京都の大学生から社会人まで25人が参加した。

11/16~18

### Startup Weekend in KYOTO

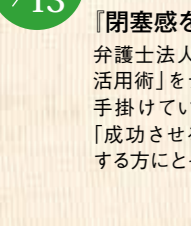


日本初!学生だけのStartup Weekend

週末の3日間でアイデア出しから起業までに挑戦するStartup Weekend。今回は参加者を学生限定で行い、意欲や素養の高い50人が集まった。優勝チームはもちろん、京都ならではのアイデアも飛び出し、審査員も驚くハイレベルな熱戦が繰り広げられた。

11/13

### 第19回宇治市産業振興センター・宇治ベンチャー育成工場 経営セミナー



「閉塞感を打破するためのM&A活用術」

弁護士法人飛翔法律事務所の五島洋氏を講師に招き「M&Aの活用術」をテーマにセミナーを開催した。実際に多数のM&Aを手掛けている同事務所ならではのリアルな「M&Aのメリット」「成功させるコツ」が惜しみなく語られ、これからM&Aを検討する方にとって非常に有益な内容となった。

11/28~29

### 関西三都ビジネスフェア2012 in マイドームおおさか



ビジネスチャンスはここにあり!

大阪・兵庫・京都からものづくり企業を中心に231の企業、団体がブースを設ける大規模なビジネスフェアが開催された。展示の他にも武田邦彦氏、財部誠一氏のビジネスセミナーが行なわれ、2日間で9,718人の来場者が訪れ、活発な商談、交流が行なわれる場となった。

12/4

### 2012知財ビジネスマッチングマート いい技術見せます・話します in 京都 オープン交流会



大手7社の技術(特許)を中小企業に紹介する「知財ビジネスマッチングマート」を昨年に引き続き開催した。特に今回は、京都府中小企業技術センター・京都市産業技術研究所・京都大学の参加も得て、その技術のパネル展示も実施。80人近い参加者でにぎわった。(近畿経済産業局受託事業)

詳しい内容はWEBでチェック!



- KRP成長企業支援部ブログ <http://www.krp.co.jp/sks/vio/newsblog>
- 町家日記 <http://blg.krp-machiya.co.jp>

## NEWCOMER

新しい入居企業様の紹介



### 株式会社アール・エム・アイ

KRP4号館3F

(株)アール・エム・アイは、リスクの研究を基本としてきたコンサルタント会社です。企業・組織の活性をうながすための提言やご支援(ソリューションマネジメント)を実施しております。

株式会社アール・エム・アイ ●TEL/075-874-6030 ●FAX/075-315-9070  
 田邊 朋子 代表取締役研究所長 ●MAIL/office@rmicon.co.jp ●URL/http://rmicon.co.jp/



### 株式会社ウェルバーグ 京都営業所

KRP4号館3F

LED、デマンドコントローラー、防露ヒーター等の省エネ機器を活用したコスト削減コンサルティング、及び、省エネ機器を中心とした環境機器の販売。京都産業エコ・エネルギー推進機構の平成24年度グリーンカンパニー育成事業として採択され、京都府の助成対象となり、京都府を対象に次世代型ESCO事業を展開する事業体「(株)京都クーレス」を平成24年12月に設立。

株式会社ウェルバーグ ●TEL/045-226-0012(本社) ●FAX/045-226-0013(本社)  
 千葉 勝久 代表取締役社長 ●MAIL/kyoto@wellberg.com ●URL/http://www.wellberg.com/





KRPサークル紹介

## 英語自由自在

部員数：13人

活動日：月2回（第2金曜、第4水曜）

場所：KRP会議室 会費：1回 500円

Let's Enjoy English!



### 仕事で、プライベートで、役立つ英語を多彩なテーマで楽しくレッスン。

お茶とお菓子でくつろぎながら、気楽な雰囲気です。英会話をレッスンしています。「旅先の英語」「イングリッシュ・パブへ行こう」「英語でお煎茶」など、さまざまなテーマを設定。ネイティブのゲストと楽しみながら、1回500円の気軽さで英語に親しんでいます。

#### メンバー代表者インタビュー



仕事帰りに集まって英会話がレッスンできたら……との思いからスタートしました。「英語から遠ざかりたくない」という帰国子女や「留学前の準備に」という実践派など、メンバーの目的はいろいろです。私の場合は「旅先のトラブルに英語で対処できること」です。毎回楽しみながら役立つテーマを心がけています。「電話のかけ方、メールの書き方」では本で紹介されているものとは違った「生きた英語表現」を知ることができました。

上達のために、英検2級やディベートにも挑戦できればと思っています。いろいろな業種からメンバーが集まっているので、ネットワーキングにも役立っています。

#### お問い合わせ先

活動内容や今後のテーマなどについてお気軽にお尋ねください。

(有) セクレタリー・オフィス・サービス 乾 泰子

http://www.s-off.com/member/circle/  
Mail:eigo@sec-off.com

## 新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健康やかな新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年KRP地区では、京都大学・山中教授のノーベル賞受賞で注目を集めている再生医療分野での「再生医療サポートプラットフォーム」活動や、電子・エネルギー分野に関西の最先端のものづくり技術を支援する「イノベーションイニシアティブ事業」、伝統工芸従事者の新たな活動を支援する「京都職人工房」のオープン、KRP-WEEKの開催など、幅広い分野で様々な活動を展開して参りました。これらは、この地区にご入居の企業・産業支援機関の皆さま、ならびに地元の産学公の方々からのご支援・ご協力の賜物であり、改めて関係者の方々に感謝・御礼申し上げます。

2013年も景気回復への道りは依然として不透明です。このような状況にあって、「京都」発「世界」へ向けた企業家のチャレンジに少しでも貢献し、このKRP地区から次代の経済を支える企業が輩出されることを後押しできればと考えております。

今後も「集交創」の社是のもと、関係者の方々との連携を深め、「新たな活力を生み出す魅力あるまちづくり」を推進して参りたいと思っております。関係者の皆さまにおかれましては、更なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この新しい年が皆さまにとって、より佳き年となりますことを心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



京都リサーチパーク株式会社 代表取締役社長 森内 敏晴

## KRP賑わい村レポート!

11月1日から12月21日まで、KRP屋外駐車場でVIO(ASTEM棟)の(株)スリーアローズ様との連携のもと「KRP賑わい村」を開催しました。タコスやカレー、エスプレッソなどキッチンカーが提供する出来立ての味とともにいつもと違ったランチタイムをお楽しみいただけましたでしょうか。また、11月16日と12月7日にはスタジオ棟の(株)パウンズ様にご協力いただき夜のイベント「Music all around」を実施しました。初冬の寒い空気の中、ライブが繰り広げられ、足を止められたお客さまも多くいらっしゃいました。KRP賑わい村にお越しいただいた皆さまありがとうございました。



## KRP Xmas 2012

日時：2012年12月14日(金)  
会場：KRP東地区アトリウム  
主催：京都リサーチパーク(株)

「KRP Xmas 2012」は、KRP(株)が一年のご支援・ご協力の感謝の気持ちをこめて皆さまをお招きする恒例のクリスマスパーティーです。KRP地区で活躍される企業の経営層の方々を中心に250人以上の方にご参加いただき、今年度も和やかに開催いたしました。



**編集後記** 2013年「癸巳(みずのとみ)」の年が明けました。皆さん、お正月はゆっくりできましたでしょうか？今年はずっと「復活と再生」の年だそうです。新政権の力で早く3.11から復活し、被災地だけでなく日本全体の経済の再生を期待したいものです。個人的には昨年患った五十肩(六十肩と言われますが)から早く復活し、以前の飛距離(ゴルフ)を取り戻したいと願っています。

**配送・停止・変更のご希望は、右記内容を明記の上**  
krppress@krp.co.jpへ

配送	① 〒、住所 ② 団体名 ③ 部署名 ④ お名前 ⑤ TEL/FAX ⑥ メールアドレス ⑦ 「配送希望」 ※定期配送も可能です
停止	⑧ ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨ 「配送停止希望」
変更	①～⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.

vol.128  
January  
2013

KRPRESS www.krp.co.jp

○編集・発行/京都リサーチパーク株式会社 〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町134番地 (ASTEM棟4階)  
TEL: (075) 322-7800 FAX: (075) 322-5348  
○編集長/池山 博文 ○取材・編集・デザイン・制作・印刷・配送管理/株式会社情通レゾナンス

**KRPコラボマガジン配信中!**  
毎月10日&25日配信中  
http://www.krp.co.jp/pub/maga.html